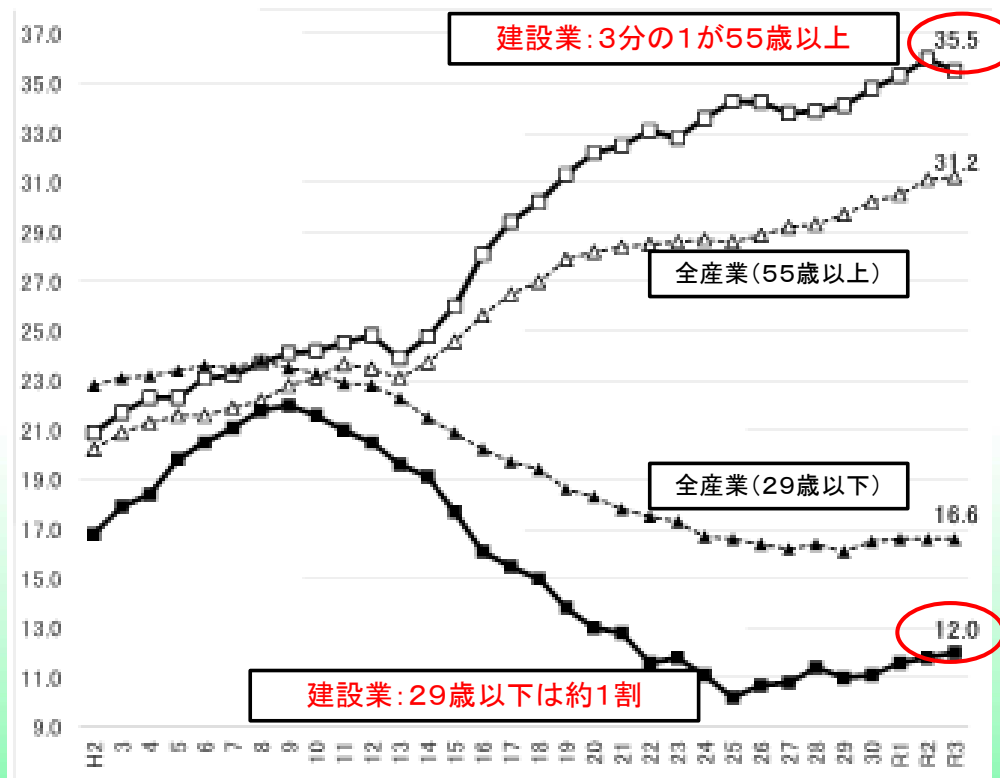




いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部 1

## 背景 (建設業就業者の高齢化の進行)



出典: 総務省「労働力調査」を基に国土交通省が算出

## 1 目的

入職後間もない若手建設従事者の孤立化、ひいては離職を防ぐため、同世代の若手建設従事者同士が交流を深め、人的ネットワークの形成及び職業観・就労意識の向上につなげる場とする。

## 2 日程

令和4年6月21日 第1回全体会（現場視察、グループワーク）  
 10月4日～24日 小学校での出前講座  
 令和5年1月31日 第2回全体会（出前講座の成果発表、表彰）

## 3 主催

静岡県、（一社）静岡県建設業協会、（一社）静岡県建設産業団体連合会

## 4 参加者

県内建設企業に勤務する概ね30歳までの建設従事者（R3:20人、R4:21人）

## 5 財源

建設企業等からの寄附金を事業費に充当（R3:14社330千円、R4:31社690千円）

# 若手交流会プログラム

第1回全体会  
（令和4年6月21日）



出前講座  
（令和4年10月）



第2回全体会  
（令和5年1月31日）

馬込川水門工事現場の視察

出前講座の内容を考える  
グループワーク

静岡市立富士見小学校  
での合材を固める体験

出前講座の成果発表・表彰

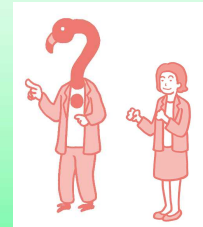


## 参加者の感想

- ・年齢が近い者同士の交流ができて良かった。
- ・同業者との関わりがなかったため、このような機会があって良かった。
- ・周りの仕事ぶりが知れたり、仲良くなることができた。
- ・学べることがあった。
- ・出前講座を通じ、自分自身も建設業の重要性や魅力を再認識することができた。

## 出前講座を受けた小学生の感想

- ・土木に興味がありました。
- ・楽しく分かりやすく学べました。
- ・詳しく知れて良かったです。
- ・とてもすごくて興味をもちました。
- ・自分の未来の仕事が増えました。



5

## 今後の取組

- ・担い手の育成 ⇒ 若手技術者の研修機会の増加
- ・担い手の確保 ⇒ 「ふじ丸デー」の拡充や、発注・施工時期の平準化等による働き方改革の推進
- ・生産性の向上 ⇒ ICT建機による施工や、遠隔臨場 等の推進



6